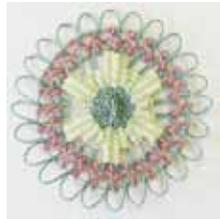


花あみルームでつくるテネリフレース 基本のモチーフ



<使用道具>

57-965

花あみルーム

55-091

とじ針<先曲げタイプ>

<材料>

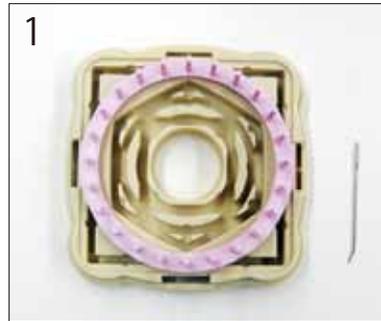
オリムパス

エミーグランデ 適宜

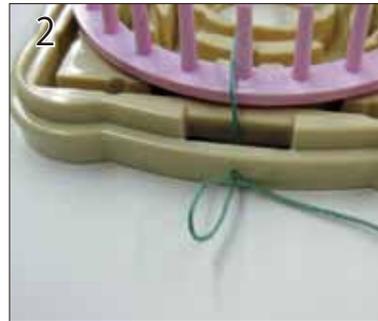
57-426

フリーステッチングボンド

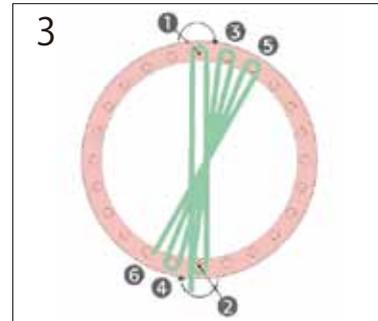
<20g>



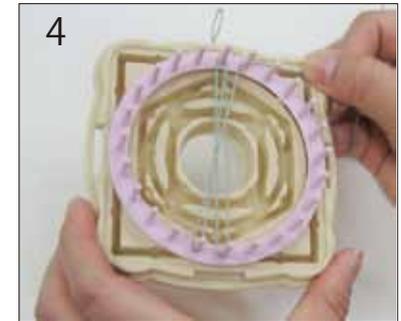
1 丸大枠を台にセットします。



2 糸端に結び目をつくり、サイドの切り込みに止めます。



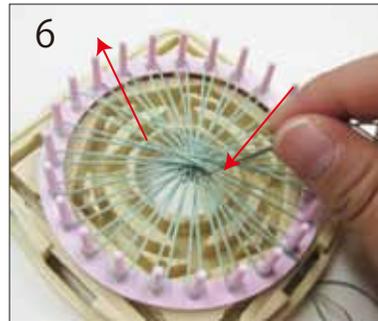
3 時計回りにピンに糸をかけていきます。



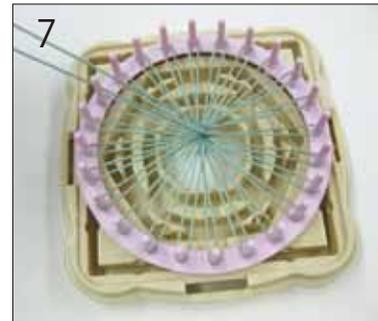
4 台を持って、まわしながらかけるとかけやすいです。



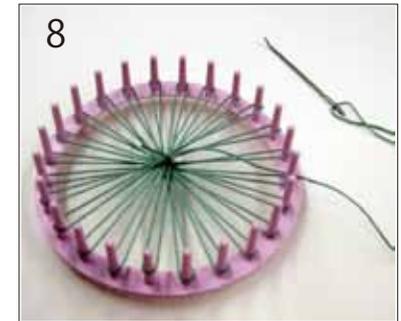
5 かけ終わりました。糸端を50cmくらいにカットします。



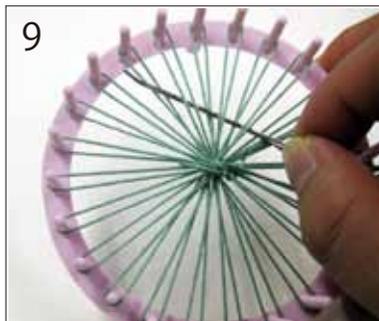
6 とじ針に通し、矢印のように糸をくぐらせます。



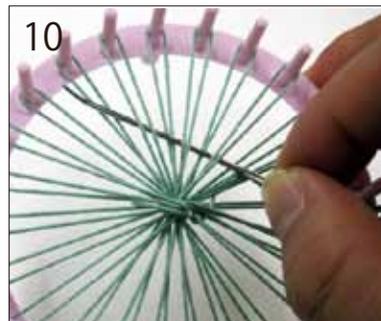
7 はじめの結び目をほどこき、かけ終わりの糸と結びます。



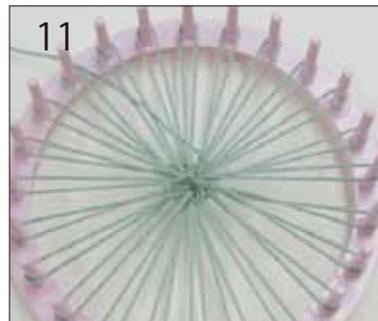
8 はじめの糸は1cmほど残してカットします。



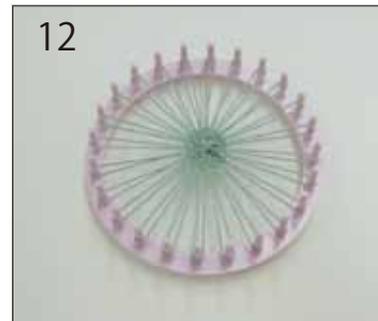
9 枠を持ってかがっていきます。上を向いている面が裏側です。



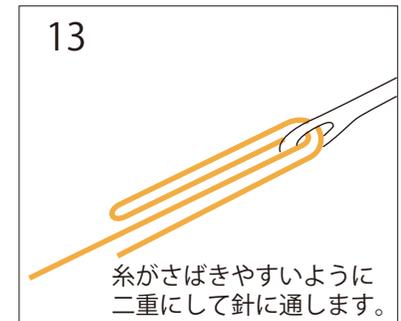
10 二本飛ばしにすくいます。



11 一周したら、4本い、すくう場所が一段目と逆になりますようにします。



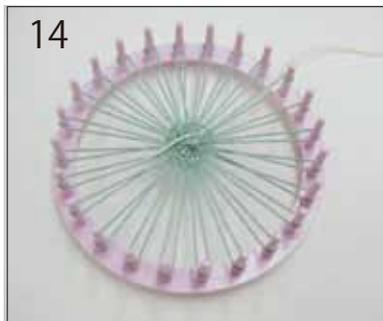
12 4周したら、糸始末します。



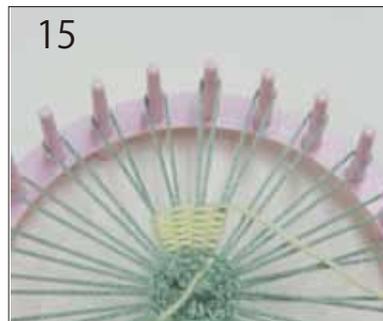
糸がさばきやすいように二重にして針に通します。

花びら用の糸を2m準備します。

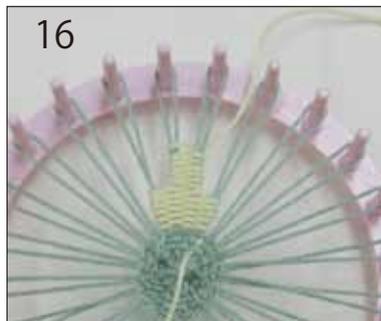
花あみルームでつくるテネリフレース
基本のモチーフ



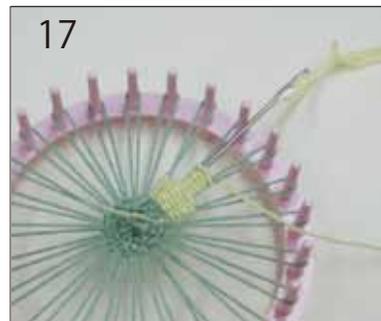
14 糸を出します。



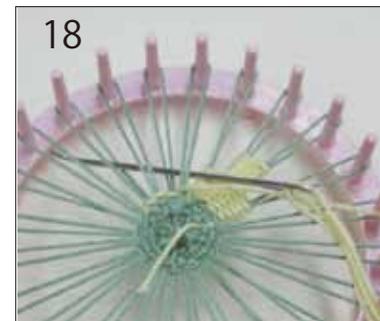
15 4ピン分を二本ごとにひろい、6往復します。



16 2ピン分に減らし、6往復します。



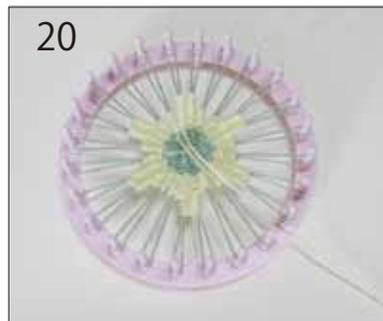
17 花びらの中を通過して隣のはじめまで戻ります。



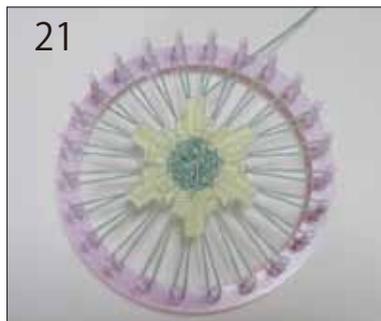
18 同じようにかがります。



19 6枚の花弁ができました。



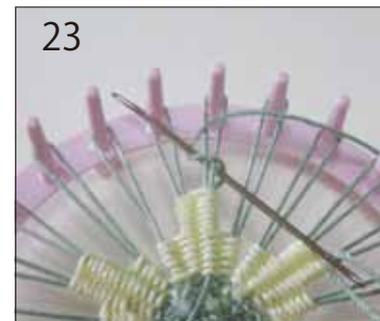
20 糸端は、花びらの中を通過して、はじめの糸と結びます。



21 80cm くらいの新しい糸をつけます。



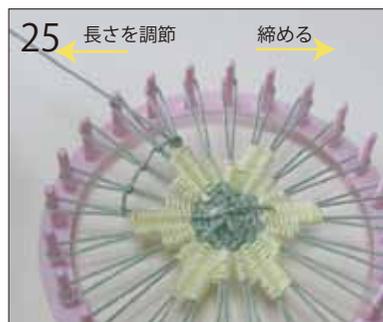
22 鎖目結び
同じピンにかかっている糸を二本ずつくいます。結ぶ糸は下です。



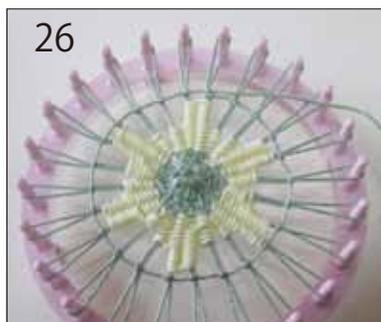
23 糸を左から右へかけ、親指で押さえて、糸を静かに引きます。



24 同じように結んでいきます。



25 長さを調節 締める
左に引いて、糸の長さを調節し、右に引いて締めます。



26 一周しました。



27 次は隣り合ったピンの糸を二本ずつ結びます。

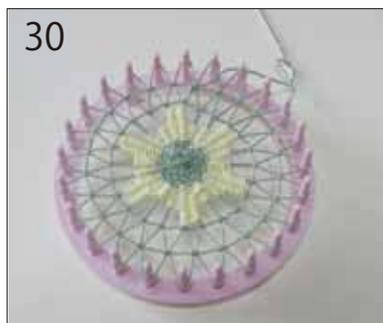


28 結べました。

花あみルームでつくるテネリフレース 基本のモチーフ



29 同じように結びます。



30 一周しました。隣の結び目に糸を通し糸始末します。



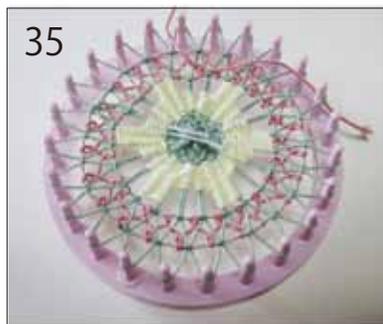
31 新しい糸80cmで、千鳥掛けします。



33 写真のように一周します。



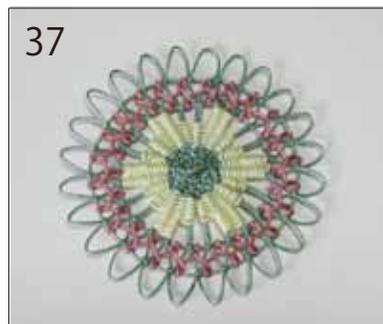
34



35 一周したらはじめの糸と結びます。



36 ボンドをつけて、乾いてから短く切ります。



37

できあがり。

<とじ針>

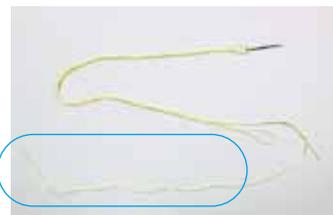
花あみルームに付属のとじ針は極太用なので、とじ針<先曲げタイプ>をお使いください。

<糸始末>

糸端を、かかった糸にくぐらせてきわでカットする方法と、結んでベースの糸に添わせるようにボンドでつけ、目立たないようにカットする方法の二通りあります。モチーフを何に使うかや、糸始末する位置によって使い分けてください。

<糸の扱い>

なるべく糸始末したくないので、絡まりにくい糸の場合は、2mほどでカットし少しずらして半分に折り、とじ針に通して使います(写真参照)。糸の扱いに不慣れな方や、絡まりやすい糸の場合は、80cmくらいずつお使いください。



この1本取りの部分でかがっていきます。



お使いになる糸に合ったとじ針をお使いください。

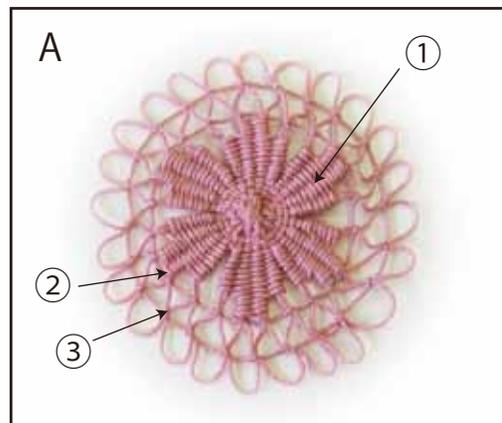
55-091
とじ針<先曲げタイプ>



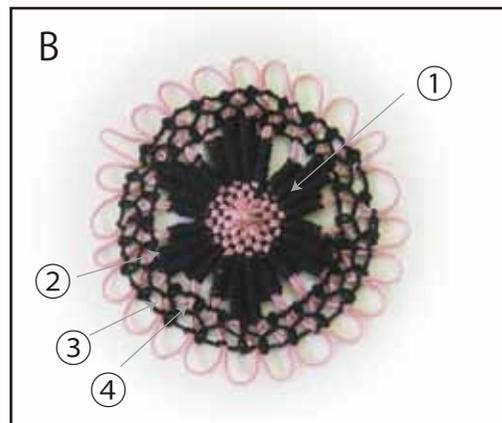
刺しゅう用の小さなボンドがオススメです。

57-426
フリーステッチングボンド
<20g>

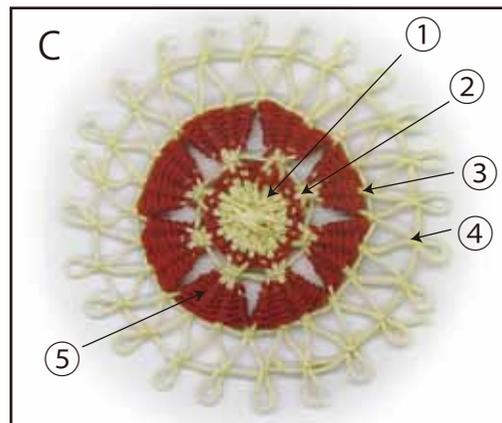
●基本のモチーフと同じテクニックでできるモチーフ（写真解説 1~8 の丸大枠を使い、ピンに糸をかけるところは一緒です。）



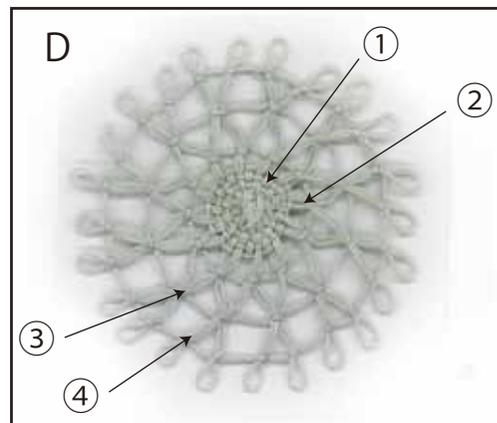
- ① 2本飛ばしに4周かがります。同じ糸で続けて花弁を作ります。4ピン分を9往復、左右1ピン分減らして4往復を6枚作ります。
- ② 同じピン同士の糸を2本ずつ鎖目結びします。
- ③ 続けて隣あったピンの2本を鎖目結びして出来上がり。



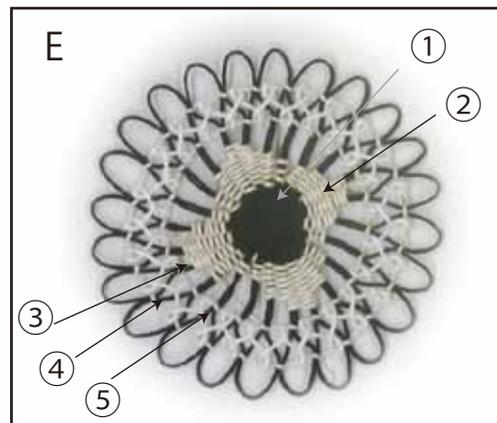
- ① 違う色の糸を用意し、2本飛ばしに4周します。同じ糸で続けて花弁を作ります。4ピン分を8往復、左右1ピン分減らして4往復を6枚作ります。
- ② 同じピン同士の糸を2本ずつ鎖目結びします。
- ③ 続けて隣あったピンの2本を鎖目結びします。
- ④ 千鳥掛けしてできあがり。



- ① 同じ糸で、2本飛ばしに1周し糸を休ませ、違う糸で3周し、糸を休ませます。
- ② 休ませていた同じ糸で3ピン分の糸（6本）を鎖目結びします。
- ③ 続けて隣あったピンの2本を鎖目結びします。
- ④ 同じピンの2本も鎖目結び。
- ⑤ 休めていた違う糸で、ベースの形に添うように、6往復×8枚かがって完成。



- ① 2本飛ばしに4周かがります。
- ② 2ピン分の糸（4本）を鎖目結びします。
- ③ ②で結んだのと違う2ピン分の糸（4本）を鎖目結びします。
- ④ 同じピンの糸、2本ずつを鎖目結びしてできあがり。

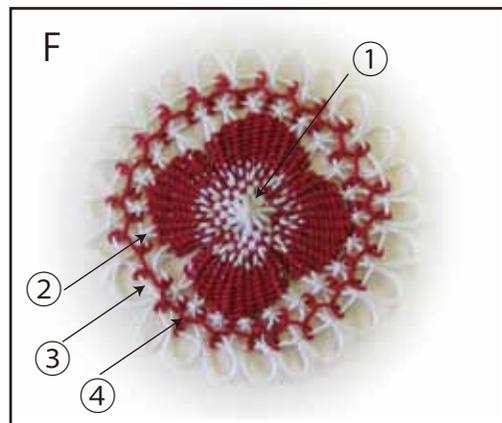


- ① 同じ糸で2本飛ばしに4周かがります。
- ② 違う糸Aで、6ピン分を4往復、4ピン分を3往復、2ピン分を3往復します。
- ③ 違う糸Aで、同じピンの糸2本を鎖目結びします。
- ④ 違う糸Aで、隣あったピンの2本を鎖目結びします。
- ⑤ 違う糸Bで、千鳥掛けして完成。

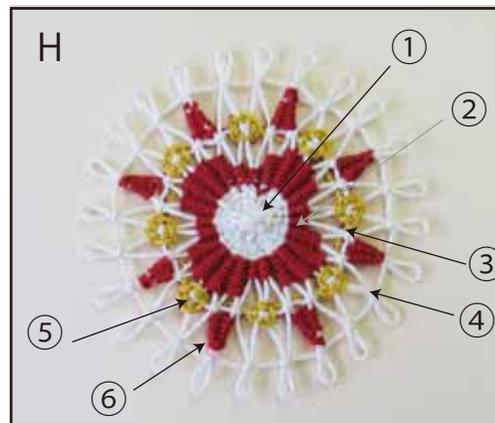
※「同じ糸」=ピンにかけたベースと同じ糸
「違う糸」=ピンにかけたベースと違う糸、のことです。

花弁の大きさや配色で雰囲気かわります。
お好きな色合わせで作ってみてください。
千鳥掛けの素材を変えても楽しいです。

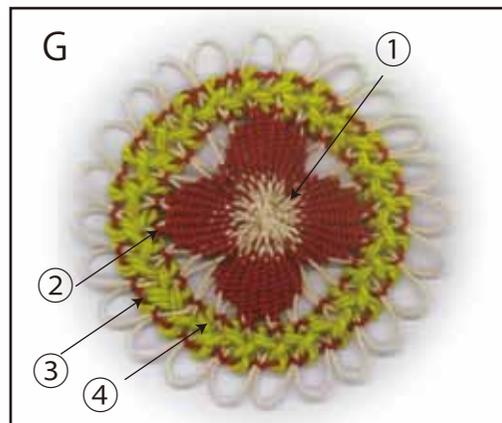
●基本のモチーフをアレンジしてできるモチーフ（写真解説1～8の丸大枠を使い、ピンに糸をかけるところは一緒です。）



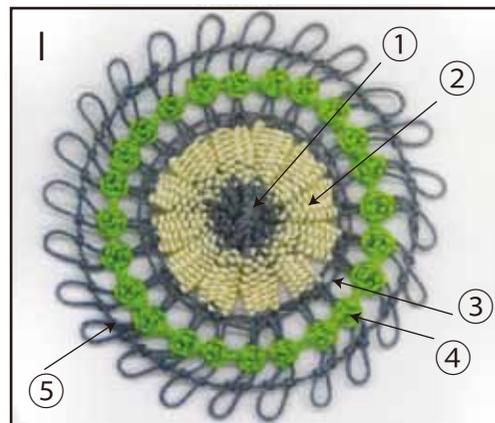
- ①違う糸で2本飛ばしに4周かがります。続けて花弁を作ります。6ピン分を1本飛ばしで4往復し、以後左右1本ずつ減らして2本になるまでくりかえします。これを4枚作ります。
- ②同じ糸で、同じピンの糸を2本ずつ鎖目結びします。
- ③続けて隣あったピンの2本を鎖目結び。
- ④千鳥掛けしてできあがり。



- ①2本飛ばしに4周かがります。
- ②違う糸Aで、6ピン分を3往復、4ピン分を3往復、2ピン分を2往復した花弁を4枚つくります。
- ③ベースと同じ糸で、隣あったピンの2本を鎖目結びします。
- ④続けて、同じピンの2本の糸も鎖目結び。
- ⑤違う糸Bでくもの巣かがりします。
- ⑥くもの巣かがりの間の三角形の部分をA糸でかがってできあがり。



- ①同じ糸で2本飛ばしに2周かがります。違う糸で、6ピン分を1本飛ばしで4往復し、以後左右1本ずつ減らして2本になるまでくりかえします。これを4枚作ります。
- ②同じ糸で、同じピンの糸を2本ずつ鎖目結びします。
- ③続けて隣あったピンの2本を鎖目結び。
- ④太めの糸で千鳥掛けしてできあがり。



- ①2本飛ばしに4周かがります。
- ②違う糸Aで、2ピン分（4本）を1本とばしに8往復した花弁を12枚つくります。
- ③ベースと同じ糸で、花弁のきわを1本とばしに2周します。
- ④同じピンの2本の糸を鎖目結びし、違う糸Bでその周りをくもの巣かがりします。
- ⑤ベースと同じ糸で、1本ずつ鎖目結びしてできあがり。

